



謹賀新年

新年あけましておめでどうございませう。市民の皆様におかれましては、清々しい新春を迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、空港に直結した大館能代空港ICの開通により、東北自動車道から高速道路ネットワークが構築され、大きく利便性が向上した大館能代空港は、開港してから20周年という節目を迎え、利用者数も過去最高を更新しております。

また、近隣住民の悲願でありました国道285号滝ノ沢バイパスが16年の歳月を経て開通しておりますし、鷹巣西道路及び国道7号鷹巣大館道路への接続区間が2020年度までに開通する見通しが立つなど、空港を中心とした交通インフラ整備が大きく前進した一年であったと実感しております。

この交通インフラ整備によるアクセス向上の追い風をしっかりと捉えながら、観光路線としても地位が確立された秋田内陸線の魅力を磨きをかけ、国内外からの更なる誘客を促進するとともに、これから見頃を迎える森吉山の樹氷をはじめ、世界一の大きさを誇る綴子大太鼓、阿仁のマガギ文化、世界文化遺産登録を目指す伊勢堂岱遺跡などの当市に点在する地域が誇る資源を積極的にPRしながら、空港所在都市としての地の利を活かした施策を打ち出して、戦略的に交流人口や関係人口を拡大させ、人が行き交う魅力的なまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

人口減少が進む中、その加速を食い止める抑止力の一つとして、これまで以上に地域間交流が重要となっており、旧合川町時代

から交流を続けておりました東京都国立市との間で、晴れて友好交流都市協定が締結され、今後の両都市間における様々な分野での連携の新たな可能性に大きな期待を寄せているところであります。『浜辺の歌』をご縁として繋がりました神奈川県藤沢市につきましても、互いの市政発展のため、成長し合える関係の構築に取り組んでまいりたいと考えております。

また、少子高齢化による人口構造の変化に対応した行政サービスの提供にも配慮しながら、より利便な戸籍・住民票等の各種証明書等のコンビニ交付導入に向けて準備を進めてまいりますし、来庁者にご不便をおかけしてまいりました宮前町庁舎につきましては、執務スペースを2階から1階へ移設し、利便性を高めるための改修工事を耐震補強工事と併せて行うこととしております。

山が芽吹く頃には、深い感慨とともに平成時代が終わりを告げ、新しい時代の幕開けを迎えますが、ここに改めて、市政の舵取り役として当市の最大の課題であります「人口減少時代を乗り越えていく」という大きな目標に向かって挑戦を続けてまいりますので、市民の皆様には、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、幸多い一年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成三十一年 元旦
北秋田市長 津谷永光

今年亥年

亥 年は十二支の12番目の年で、方角や時刻を表す語として使われてきました。

「亥」は北西よりやや北寄りの方角、「亥の刻」は午後10時を中心とする約2時間を指します。後に、庶民に十二支を浸透させるため「亥」にわかりやすい動物の「猪」を当てたとされていますが、猪が選ばれた理由は定かではありません。

「亥」は元々「闇」と書いて「とぎす」という意味で、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表しています。また「亥」はイノシシや豚の骨格を描いた象形文字で骨組みや核を表しますが、イノシシそのものの意味はありません。

猪 は鯨偶蹄目イノシシ科に分類される哺乳類の一種。日本も中国も「亥年」の動物は「猪」です。同じ「猪」なのですが、日本人と中国人が思い浮かべる動物は違います。中国語の「猪」は、イノシシではなく「豚」なの



です。もともと、猪と豚は生物学的には大きな違いはなく、豚は野生の猪を飼慣らして家畜化させた生き物だと言われています。

まるまると太り、よく食べる豚は中国では富の象徴とされて「太ること」生活が豊かなことであり、「お太りになられましたね」がほめ言葉でした。他にも豚は一度に数十匹の子どもを産むことから、子宝の象徴とされています。

近年の日本では猪は、人里に出没し農作物に被害をもたらす厄介者とされていますが、中国の富と子宝の象徴にあり、北秋田市に一人でも多くの子どもが生まれ、活気と笑顔があふれる一年になることを願います。

平成31年の主な行事予定

- 1月1日 元旦マラソン／元旦倉ノ山登山
- 2日 大太鼓叩き初め
- 5日 森吉山樹氷観賞(3月3日)
- 27日 市民スキー大会
- 2月9日 もちっこ市(10日)
- 16日 スノーキャンドルストリートinあに
- 3月21日 万灯火
- 4月下旬 伊勢堂岱遺跡公開開始(10月末)／くまくま園オープン(11月上旬)／阿仁スキー場春スキー営業(4月土日・祝日)5月6日／鷹巣中央公園桜まつり(5月上旬)
- 5月3日 森吉山山開き
- 29日 チャレンジデー
- 6月1日 竜ヶ森山開き／太平湖湖水開き
- 2日 ふるさと踊りと餅っこまつり
- 阿仁スキー場ゴンドラ運行
- 《花の百名山》(10月下旬)
- 7月6日 米代川花火大会
- 14日 八幡宮綴子神社例大祭(15日)
- 8月7日 森吉山麓たなばた火まつり
- 14日 合川ふるさとまつり・まとい／根子番楽
- 15日 成人式／市民盆踊り大会
- 16日 阿仁の花火と灯籠流し
- 民俗芸能大会
- 9月8日 たかのす太鼓まつり
- 中旬 縄文まつり
- 10月22日 100キロチャレンジマラソン
- 10月下旬 産業祭／文化祭
- 11月上旬 浜辺の歌音楽祭
- 12月中旬 きらきらフェスティバル(2月上旬)



▲多くの市民が参加したチャレンジデー



▲世界文化遺産登録を目指す伊勢堂岱遺跡